

JISAセッション



亀津 敦

株式会社 野村総合研究所

情報技術本部 イノベーション開発部 イノベーション
・インテリジェンスグループ

主任研究員

情報技術マップの活用

プロフィール

1996年東京大学経済学部卒業後、精密機器メーカーの情報システム部門・経営企画部門勤務を経て、2000年に野村総合研究所に入社。情報技術本部にてIT動向の調査と分析を行うITアナリスト集団に所属。専門は、情報系システム全般（主にEIPやナレッジマネジメント）と、ユビキタス・ネットワーク技術の知識分野への応用など。著書に「ITロードマップ2011年版」「Twitterの衝撃」（ともに共著）がある。

講演概要

JISAでは2004年度より「情報技術マップ調査委員会」を設置し、技術動向を把握することを目的とした情報技術マップ調査を実施している。本調査は、技術を利用した実績や、今後の着手意向を探る事で、業界としてそれぞれの技術が今どの方向に動き出そうとしているのかを明らかにしようとするものである。

本セッションでは、直近のアンケート結果（2009年度実施）のデータを用いながら、情報技術マップ調査の分析方法と技術動向の読み解き方を解説する。さらに、会員企業の調査の活用事例を通じて、情報技術マップがSI企業の研究開発マネジメントや人材育成、ユーザ企業との対話にどのように活用することができるかについて紹介する。